長谷川 初スプリント2位 白樺学園

日韓交歓交流スピードスケート

スピードスケートの日韓交歓交流競技大会第1日は3日、明治北海道十勝オーバルで行い、スプリント男子はキム・ウジン（韓国）が500、1000㍍の2種目を大会新で制しトップに立った。2位は2種目とも2位の長谷川翼（白樺学園3年）。女子スプリントは500㍍で山根佳子（帯柏葉1年）が快勝したが、1000㍍は辻本有沙（白樺学園3年）の2位が最高だった。オールラウンドは韓国勢が強さを見せつけ女子はチャン・ミが2種目制覇。男子もイ・ジンヨンが3000㍍唯一4分を切る圧勝だった。（岡部彰広）

初日の男子スプリントで2種目2位だった長谷川翼

韓国短距離エース ソチ五輪を意識 キム・ウジン

○…韓流アイドル同様の髪型が目を引く韓国男子選手たち。この中で短距離のキム・ウジンの活躍が光った。

次世代を担うスプリンターだが、中距離も滑ることができる強さが持ち味。小学1年生時に友達と遊んだのがスケートとの最初の関わりだったが、エリートが集う同国スピードスケートのジュニアのエースにまで上り詰めた。

帯広入りの翌日の競技だったが「自分のコンディションは最高」と2種目で自己記録を更新。特に500㍍では長谷川に勝ち「すごく気持ちいい」と笑顔を見せた。

前回五輪の金メダリストがいるなど同国のスプリンター陣は層が厚い。「今はシニアの人たちが遠くに見える」と話すが「自分の考え通りにやれば追いつける。ソチ五輪をいつも頭に入れながら練習していきたい」と自信をのぞかせた。

男子スプリント1000㍍の入賞者。（左から）長谷川翼、キム・ウジン、キム・テユン

ライバル対決今季初黒星 長谷川

スプリント男子は、長谷川翼が得意の500㍍で失速し、ジュニアのトップを争うライバルのキム・ウジン（世和高3年）に0・04秒差で敗れた。

「恐くてただ回るだけになってしまった」と話すように、スピードに乗った最後のインコースのコーナーを攻めきれなかったのが敗因。ジュニアワールドカップ（W杯）では今季負けなしの3連勝とキムを圧倒していたが、直接対決で今季初の敗戦を喫した。「かなり悔しい」と顔をしかめたが、ライバルから学ぶべきところも多かった。「韓国勢は、特に1000㍍でのカーブですごく前に進んでいる。日本人は氷を横に蹴っているが、韓国では下に蹴るようにしていることを聞いた」と今後の練習へのヒントをもらったよう。

〝韓流〟にヒントも

アウトスタートで初の35秒台突入はおあずけとなったが、最終日は最後のコーナーでアウト側を回れるインスタートだけに「次は勝ちたい」と気持ちを切り替えていた。

チャン・ミ圧勝V 韓国勢表彰台独占 女子総合1500

○…女子総合1500㍍は、2018年ピョンチャン（平昌）冬季五輪を視野に入れる韓国のトップジュニア選手が表彰台を独占。優勝のチャン・ミ（議政府女高1年）が2分4秒59の自己ベスト記録をたたき出す圧勝だった。

日本の高校1年生と同じ15歳だが、身長171㌢と恵まれた体格が持ち味。まだ粗削りなフォームだが、欧米選手のようにダイナミックにぐいぐいと氷を蹴る。大会前日に帯広入りしたばかりで疲れはあったが「自分の滑りはできた」と満足げだ。

五輪金メダリストのイ・サンファに次ぐ同国を支える選手として、韓国中高氷上連盟の期待は高い。このほど来年1月のユース五輪（オーストリア・インスブルック）の韓国代表に選ばれた。

チャンは「代表として必ず金メダルをとりたい」と話しながら、ソチ五輪にも言及。「頑張って代表になりたい。経験を積んで（ピョンチャンに）出たい」と目を輝かせていた。

全十勝高校スケート選手権

1年生山根（帯柏葉）500制す

スプリント女子500㍍を快勝した山根佳子

日韓交流と併催された第56回全十勝高校選手権（道高体連十勝支部など主催）第1日は3日、明治北海道十勝オーバルで行い、スプリントの男子は長谷川翼（白樺学園3年）が2種目で快勝。同女子は500㍍で山根佳子（帯柏葉1年）、1000㍍は辻本有沙（白樺学園3年）が制した。オールラウンド女子は高橋菜那（白樺学園3年）が500、1000㍍で貫禄勝ち。男子3000㍍は小川翔也（池田2年）が地力勝ちした。（岡部彰広）

自己記録届かず「まだまだです」 山根

○…全十勝選手権のスプリント女子500㍍1回目は、山根佳子が自己記録には届かなかったが41秒32で快勝した。

ダブルエントリーされた日韓交歓交流の韓国勢を含め、最初の100㍍が11秒43と全体の4番目のタイム。そこから上がりをうまくまとめた。

明治オーバルでの自己記録は41秒02。エムウエーブ（長野）では今季の全日本距離別などで40秒台に突入しているだけに「まだまだです」と気を引き締めて最終日に臨んだ。

W杯スケート

加藤 連日の2位 辻は女子500で10位

スピードスケートのワールドカップ（W杯）第3戦第2日は3日、オランダ・ヘーレンフェインで行われ、男子500㍍は及川佑（大和ハウス工業―山梨学院大、池田高出）が11位、長島圭一郎（日本電産サンキョー―日大、池田高出）が20位だった。加藤条治（日本電産サンキョー）は35秒02で2日連続の2位入賞を果たした。女子500㍍の日本勢は辻麻希（十六銀行―白樺学園高出）の10位が最高だった。

刃で足首を切る「力入らなかった」 長島

▽…長島が思わぬアクシデントに襲われた。男子500㍍でスタート直後に自分のスケート靴の刃で足首を切ってしまい、「力が入らなくなってしまった」。何とかゴールはしたが、普段通りのレースはできず、40秒台のタイムで最下位。開幕戦からなかなか浮上のきっかけをつかめず、滑りに悩んでいる中で、また災難に遭った。

滑りと気持ちかみ合ってない 辻

▽…辻は女子500㍍で今季初めて2桁の順位に沈んだ。スタートから体がうまく動かなかったといい、「滑りと気持ちがかみ合ってなかった」と反省。開幕戦では2位に入ったが、第2戦以降は風邪を引くなど体調不良も重なった。「後半戦は（高速リンクの）ソルトレークシティーから始まるので日本新を狙いたい」と気持ちを切り替えていた。

「ラッキーな結果」 加藤

▽…表彰台に立った加藤は満足していなかった。2日連続の2位にも、「かなりラッキーな結果」。前日を上回る35秒02のタイムを出しても、喜びの笑顔を見せなかった。

最初の100㍍は9秒56。全選手でトップのスタートを切った。だが、「あの100㍍の入りで、34秒台で帰ってこられないのが現状」と自己分析。スタートダッシュを生かせなかった自分に、むしろ不満が募った。

本来ならば最も得意とするはずのカーブでの滑りが、不満の最大の要因になった。いつものような足運びができず、終盤には疲れも出ていたという。「カーブで一番減速している。最後のカーブでは0秒20くらい落としている」と切り捨てた。

前半戦6度の500㍍で、優勝1度、2位2度は日本勢最高で、及第点とも言える。だが、「世界と戦うには、まだまだ甘い」と反省を続ける。

（2位以下関係分、Bは関係分）

【男子】◇500㍍▽ディビジョンA＝①ペッカ・コスケラ（フィンランド）35秒01②加藤条治（日本電産サンキョー）35秒02⑪及川佑（大和ハウス工業―山梨学院大、池田高出）35秒38⑰上條有司（日本電産サンキョー）35秒54⑳長島圭一郎（日本電産サンキョー―日大、池田高出）40秒64

▽同B＝⑬羽賀亮平（日本電産サンキョー―日大、白樺学園高出）35秒93

◇10000㍍▽ディビジョンA＝①ヨリト・ベルフスマ（オランダ）12分50秒33

▽同B＝⑤平子裕基（開西病院）13分24秒64⑲在家範将（日大）14分15秒12

【女子】◇500㍍▽ディビジョンA＝①于静（中国）37秒67⑩辻麻希（十六銀行―白樺学園高出）38秒50⑮住吉都（堀技研工業）38秒94

▽同B＝②仁科有加那（日本電産サンキョー―帯南商高出）39秒10⑩神谷衣理那（日本電産サンキョー―白樺学園高出）39秒83

◇1500㍍▽ディビジョンA＝①クリスティン・ネスビット（カナダ）1分55秒68⑮菊池彩花（富士急）1分58秒83⑯小平奈緒（相澤病院）1分58秒87⑰高木美帆（帯南商高）1分58秒99

▽同B＝⑮石野枝里子（日本電産サンキョー―白樺学園高出）2分3秒10⑯石澤志穂（トランシス―駒大苫小牧高、中札内中出）2分3秒41

＜日韓＞（4位以下関係分）

【男子】◇スプリント▽500㍍1回目＝①キム・ウジン（韓国）36秒05・大会新②長谷川翼（白樺学園）36秒09③キム・テユン（韓国）37秒22⑤後藤卓也（帯農）37秒55⑥荻野達哉（白樺学園）37秒58⑦居城和樹（帯南商）37秒89⑧佐藤裕太（帯農）38秒19

▽1000㍍1回目＝①キム・ウジン（韓国）1分12秒30・大会新②長谷川翼（白樺学園）1分13秒09③キム・テユン（韓国）1分13秒56⑤荻野達哉（白樺学園）1分14秒59⑥居城和樹（帯南商）1分15秒91⑦後藤卓也（帯農）1分16秒50⑧佐藤裕太（同）1分17秒13

◇総合▽500㍍＝①イム・チュンホン（韓国）37秒13②磯賢汰（帯農）37秒91③イ・ジンヨン（韓国）38秒15⑤小川拓朗（白樺学園）39秒05⑥岡田樹（帯南商）39秒10⑦下坂和彦（帯三条）39秒17⑨宮浦雅之（白樺学園）40秒53

▽3000㍍＝①イ・ジンヨン（韓国）3分57秒93②小川拓朗（白樺学園）4分6秒23③イム・チュンホン（韓国）4分8秒44④磯賢汰（帯農）4分8秒83⑥岡田樹（帯南商）4分10秒46⑦宮浦雅之（白樺学園）4分11秒00

【女子】◇スプリント▽500㍍1回目＝①山根佳子（帯柏葉）41秒32②カク・ヘリ（韓国）41秒50③米田光希（白樺学園）41秒56⑤桜井萌美（同）41秒63⑥辻本有沙（同）41秒88⑨按田心（帯三条）42秒29

▽1000㍍1回目＝①ナム・エウォン（韓国）1分22秒79②辻本有沙（白樺学園）1分23秒35③桜井萌美（同）1分23秒53⑤山根佳子（帯柏葉）1分23秒99⑥米田光希（白樺学園）1分24秒06⑩按田心（帯三条）1分26秒07

◇総合▽500㍍＝①チャン・ミ（韓国）40秒73②ホ・ユンヒ（同）41秒60③高橋菜那（白樺学園）41秒82④谷垣彩香（帯南商）42秒42⑥山田真以（帯三条）42秒81⑦酒井寧子（帯南商）42秒93⑨原田梨央（白樺学園）43秒14

▽1500㍍＝①チャン・ミ（韓国）2分4秒59②ホ・ユンヒ（同）2分6秒10③イム・ジョンス（同）2分9秒09④高橋菜那（白樺学園）2分9秒50⑦酒井寧子（帯南商）2分12秒00⑧谷垣彩香（帯南商）2分12秒43⑨原田梨央（白樺学園）2分12秒58⑩山田真以（帯三条）2分15秒16

＜全十勝＞

【男子】◇スプリント▽500㍍1回目＝①長谷川翼（白樺学園）36秒09②後藤卓也（帯農）37秒55③荻野達哉（白樺学園）37秒58④松田知記（池田）37秒85⑤居城和樹（帯南商）37秒89⑥西恭平（帯農）38秒15⑥関井翔太（帯南商）38秒15⑧佐藤裕太（帯農）38秒19⑨宗宮紘汰（白樺学園）38秒31⑩森本拓也（池田）38秒50⑪佐藤健（帯南商）38秒52⑫今野明星（池田）38秒54⑬中山航（帯三条）38秒65⑭佐々木奨之（白樺学園）38秒79⑮角井俊洋（帯南商）38秒81⑯河瀬拓思（帯大谷）39秒17⑰渡邊勇人（白樺学園）39秒22⑱戸田亮太（同）39秒52⑲宇佐見裕太（帯農）39秒61⑳前田貴大（同）39秒66㉑廣川恵斗（同）39秒80㉒阿部皓平（池田）39秒94㉓鎌田誠貴（帯農）41秒44㉔吉田良太（同）43秒33㉕小野塚健二郎（白樺学園）52秒28

▽1000㍍＝①長谷川翼（白樺学園）1分13秒09②荻野達哉（同）1分14秒59③関井翔太（帯南商）1分14秒72④居城和樹（同）1分15秒91⑤今野明星（池田）1分16秒18⑥後藤卓也（帯農）1分16秒50⑦松田知記（池田）1分16秒53⑧宗宮紘汰（白樺学園）1分16秒61⑨佐藤裕太（帯農）1分17秒13⑩小野塚健二郎（白樺学園）1分17秒42⑪中山航（帯三条）1分17秒76⑫佐々木奨之（白樺学園）1分17秒86⑬宇佐見裕太（帯農）1分17秒87⑭西恭平（同）1分18秒07⑮森本拓也（池田）1分18秒12⑯渡邊勇人（白樺学園）1分18秒16⑰佐藤健（帯南商）1分18秒65⑱戸田亮太（白樺学園）1分18秒75⑲前田貴大（帯南商）1分19秒47⑳角井俊洋（帯南商）1分19秒51㉑廣川恵斗（帯農）1分20秒44㉒河瀬拓思（帯大谷）1分20秒59㉓阿部啓吾（帯農）1分21秒31㉔阿部皓平（池田）1分21秒38㉕鎌田誠貴（帯農）1分23秒17㉗吉田良太（同）1分27秒89

◇総合▽500㍍＝①磯賢汰（帯農）37秒91②戸田真也（白樺学園）37秒96③池田崇将（同）38秒44④小川翔也（池田）38秒62⑤金野樹（同）38秒66⑥小川拓朗（白樺学園）39秒05⑦岡田樹（帯南商）39秒10⑧下坂和彦（帯三条）39秒17⑨寺町巧（帯農）39秒22⑩田中康裕（同）39秒47⑪山澤諒（池田）39秒76⑫久保渉吾（同）39秒85⑬山下智大（同）40秒08⑭千葉将志（白樺学園）40秒14⑮宮浦雅之（同）40秒53⑯及川翔（帯農）40秒75⑰松本惇矢（同）41秒07⑱松浦孝則（帯三条）41秒20⑲宮部大樹（帯農）41秒43⑳遠國大地（帯三条）41秒97㉑児玉直弥（帯農）42秒08㉒植村良（帯北）42秒74

▽3000㍍＝①小川翔也（池田）4分5秒84②小川拓朗（白樺学園）4分6秒23③千葉将志（同）4分8秒18④磯賢汰（帯農）4分8秒83⑤岡田樹（帯南商）4分10秒46⑥宮浦雅之（白樺学園）4分11秒00⑦戸田真也（同）4分11秒87⑧池田崇将（同）4分12秒49⑨久保渉吾（池田）4分12秒62⑩山澤諒（同）4分13秒31⑪金野樹（同）4分14秒05⑫寺町巧（帯農）4分18秒70⑬田中康裕（同）4分19秒40⑭遠國大地（帯三条）4分19秒88⑮及川翔（帯農）4分22秒15⑯松浦孝則（帯三条）4分22秒83⑰植村良（帯北）4分26秒06⑱山下智大（池田）4分26秒56⑲児玉直弥（帯農）4分31秒12⑳松本惇矢（同）4分34秒09㉑宮部大樹（同）4分36秒43

【女子】◇スプリント▽500㍍1回目＝①山根佳子（帯柏葉）41秒32②米田光希（白樺学園）41秒56③桜井萌美（同）41秒63④辻本有沙（同）41秒88⑤按田心（帯三条）42秒29⑥高畑優貴（白樺学園）42秒35⑦太田凪砂（帯南商）42秒36⑧漆川衿菜（同）42秒87⑨田中みさと（帯農）43秒69⑩磯綾香（帯工）43秒70⑪冨田和佳菜（帯農）43秒87⑫佐々木七海（帯三条）44秒77⑬藤本優羽（本別）47秒05⑭斎藤胡桃（池田）58秒75

▽1000㍍＝①辻本有沙（白樺学園）1分23秒35②桜井萌美（同）1分23秒53③山根佳子（帯柏葉）1分23秒99④米田光希（白樺学園）1分24秒06⑤太田凪砂（帯南商）1分25秒29⑥高畑優貴（白樺学園）1分25秒39⑦按田心（帯三条）1分26秒07⑧漆川衿菜（帯南商）1分26秒42⑨磯綾香（帯工）1分28秒15⑩田中みさと（帯農）1分28秒28⑪冨田和佳菜（同）1分28秒96⑫藤本優羽（本別）1分34秒06⑬佐々木七海（帯三条）1分34秒53

◇総合▽500㍍＝①高橋菜那（白樺学園）41秒82②谷垣彩香（帯南商）42秒42③山田真以（帯三条）42秒81④酒井寧子（帯南商）42秒93⑤原田梨央（白樺学園）43秒14⑥匂坂桃子（帯南商）43秒71⑦新田萌（帯農）44秒51⑧齋藤明日佳（帯南商）44秒69⑨嶋宮茉佑子（帯三条）45秒22⑩川又愛華（白樺学園）46秒00

▽1500㍍＝①高橋菜那（白樺学園）2分9秒50②酒井寧子（帯南商）2分12秒00③谷垣彩香（同）2分12秒43④原田梨央（白樺学園）2分12秒58⑤新田萌（帯農）2分14秒09⑥匂坂桃子（帯南商）2分14秒49⑦山田真以（帯三条）2分15秒16⑧齋藤明日佳（帯南商）2分16秒77⑨川又愛華（白樺学園）2分18秒42⑩嶋宮茉佑子（帯三条）2分18秒84

清水御影と幕別全道へ

道小学生アイスホッケー選手権予選

アイスホッケーの第32回全道小学生選手権帯広地区予選会（帯広アイスホッケー連盟など主催）第5日は3日、帯広の森アイスアリーナで準決勝を行い、清水御影と幕別が大勝、ともに2年連続で道大会（来年1月、同アリーナで開催）への出場を決めた。最終日の4日は3位決定戦と決勝を行った。（岡部彰広）

【準決勝・幕別―広陽稲田ブルーインズ】第1ピリオド、幕別は菊池優我（右）が先制ゴールを挙げ、仲間とハイタッチ

◇準決勝

清水御影 9（1－0、3－0、5－0）0 開西

▽得点者【清】志賀紅3、廣田2、伊藤2、土橋、澤田
▽アシスト【清】志賀葵2、伊藤2、太田2、廣田、土橋、志賀紅、榛澤
▽反則【清】3【開】1
▽シュート数【清】46（16、13、17）【開】10（2、4、4）
▽審判＝笹村幸、木村雄、鳥本

幕別 14（2－0、7－0、5－0）0 広陽稲田ブルーインズ

▽得点者【幕】浦木5、菊池2、西岡蓮2、西田2、佐藤、小山、石井
▽アシスト【幕】佐藤5、小山3、萱谷、西岡駿、西田、西岡蓮、菊池
▽反則【幕】4【広】4
▽シュート数【幕】60（23、20、17）【広】11（4、3、4）
▽審判＝笹村幸、木村雄、鳥本

白樺学園初戦敗退

バスケ道総合選手権

【江別】バスケットボールの第66回道総合選手権大会第1日は2日、江別市民体育館で男女の1回戦を行い、十勝から出場している男子の白樺学園高は、検竃クラブに79―98で敗れ初戦突破はならなかった。

（関係分）

【男子】◇1回戦

検竃クラブ 98（22－22、21－14、22－17、33－26）79 白樺学園高

◆第54回全十勝中学校アイスホッケー大会（2、3日・帯広の森アイスアリーナ）

▽予選リーグ

帯八 20（11－0、8－0、1－1）1 連合A

▽得点者【帯】古川5、阿部4、渡邉3、香田悠2、志賀、矢本、坂井、山口、清水、松久【連】池田脩
▽アシスト【帯】古川7、志賀5、阿部4、香田悠3、山口3、渡邉2、坂井、宮田、清水
▽反則【帯】7【連】7
▽シュート数【帯】98（17、39、42）【連】11（6、3、2）
▽審判＝林、高橋、平野

連合B 7（2－1、2－3、3－0）4 連合A

▽得点者【B】鈴木2、石田2、田守、三田村、口田【A】池田脩4
▽アシスト【B】鈴木2、口田、早坂、三田村【A】関
▽反則【B】6【A】5
▽シュート数【B】49（17、17、15）【A】18（5、5、8）
▽審判＝円子智、代田、二川

▼夜12時まで営業!!
街の花屋さん
市内西1南10 5番館ビル ☎24-8783

かちまいスポーツ
記録の速報は▼kachimai.mobi
Eメール▼sports@kachimai.co.jp
写真がほしい▼TEL0120-25-9410
ファクス▼0155-25-2700